

科目名	【講義4／演習】企業と経営の基礎理解	方法	講義・演習	時数	150分
-----	--------------------	----	-------	----	------

## 1. 本科目のねらいと獲得目標

### 【獲得目標】

- (1) 一般的な就労支援を行う上で必要となる、企業文化・企業経営の基本的な知識や視点について学ぶ。
- (2) 就労系サービスにおける各事業所の運営に必要な経営的アプローチについて学ぶ。

### 【ねらい】

一般的な就労支援を進めるためには、企業という仕組みについて理解をすることがとても重要である。講義や演習を通して、企業が行う活動の本質的な意義や目的などを確認するとともに、就労系サービスにおける各事業所が行う運営を経営的な視点から、その在り方等についての理解促進をねらいとする。

## 2. 本科目の概要と指導ポイント

### 科目概要

- (1) 日本における企業の位置づけや企業文化を理解する。
- (2) 基本的な労働関係法規の体系と、就労系サービスにおける各事業に関わりの深い労働関係法規を理解する。
- (3) 就労継続支援事業における経営改善・工賃向上に向けた経営分析の手法について理解する。

### 指導ポイント

- (1) 企業文化を理解するという視点で、企業の定義・企業の基本的な分類・企業文化の定義など、基本的な企業という仕組みについて講義で理解促進を図る。
- (2) 企業経営の基礎を理解するという視点で、①就労系サービスにおける各事業所の経営改善・工賃向上等に関連し、財務三表の理解、また損益分岐点に着目した経営改善等②企業が活動を行う際に策定する経営理念・経営ビジョン・経営戦略等の定義、また経営分析の手法等、についてそれぞれ講義でおさえる。

なお、どちらか1つのテーマを演習（グループワーク）として選択し実施することで理解促進を図る。

- (3) 就労支援を行う上で必要な基本的な労働関係法規、また就労系サービスにおける各事業の運営に関わりの深い労働関係法規について講義でおさえ、演習（グループワーク）を通して理解促進を図る。

## 3. 本科目の展開例

### 本時の展開

導入	5分	この単元のねらいと全体の流れを説明する。
展開Ⅰ	講）20分	企業文化の理解 (講義)「企業の定義、企業の分類、企業文化とコーポレート・インデンティティ」に関する解説

展開2	講) 20分 演) 45分	<p>企業経営の基礎</p> <p>①(講義)「経営分析の手法を学ぶⅠ(財務諸表と損益分岐点の理解)」の解説(10分)</p> <p>②(講義)「経営分析の手法を学ぶⅡ(経営環境の分析)」の解説(10分)</p> <p>③-Ⅰ(選択演習「損益分岐点の活用」)</p> <p>→演習の説明(5分)</p> <p>→個人によるワーク(15分)</p> <p>→グループ内での共有(20分)</p> <p>→全体のまとめ(5分)</p> <p>③-Ⅱ(選択演習「SWOT 分析の活用」)</p> <p>→演習の説明(5分)</p> <p>→個人によるワーク(15分)</p> <p>→グループ内での共有(20分)</p> <p>→全体のまとめ(5分)</p>
展開3	講) 10分 演) 40分	<p>基本的な労働関係法規の理解</p> <p>①(講義)「働く権利の保障(憲法・労働法・各種関係法等)」(10分)</p> <p>②(演習「働く者の権利を考える」)</p> <p>→演習の説明(5分)</p> <p>→事例の解説(10分)</p> <p>→グループ検討(15分)</p> <p>→全体共有(10分)</p>
展開4	講) 10分	<p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業経営と障害者雇用について現状と課題を解説。</li> <li>・健全な企業経営には、健全な企業経営上の理念やビジョンが必ず存在しているということを解説。</li> </ul>